



呉市周辺海域におけるかきの大量へい死に対する漁業団体からの要望について

呉市周辺海域において、養殖かきの大量へい死が発生しており、シーズンを迎えたにも関わらず出荷するかきがほとんどない状況にあります。

この状況を受けて、呉市管内14漁協で構成される呉漁業協同組合連絡協議会から呉市に対し、へい死対策に関する要望書が提出され、意見交換を行いました。

1 日程等

日時 令和7年11月14日（金） 午前9時30分～

場所 市長会議室

参加者 呉漁業協同組合連絡協議会吉川宏夫会長ほか、かき生産者が所属する漁協の代表理事組合長8名

2 要望書の内容

- ・国や広島県と連携した資金面を含めた支援
- ・国や広島県と連携した原因究明や防止策
- ・地域の牡蠣養殖のPR推進

3 意見交換の概要と呉市の今後の対応

参加者からは主に「資金繰りに対する支援」や事業継続への不安から「早期の原因究明」を求める意見がありました。市長は「国、県、市議会と連携し、呉市独自の施策も含めて、早急に取り組んでいく。また、県を中心に原因究明を進め、その結果を踏まえて適宜対応していきたい。」と発言しました。

かきは呉市を代表する水産物、食の観光の目玉です。特に喫緊の課題である資金繰りが円滑に進むよう支援策に取り組んでいきます。

